



学校だより

令和3年 5月31日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokigaoka/>



伝える力

校長 仲川 美世子

本校では、子どもたちのさらに伸ばしたい力として、自分の思いや考えを伝え合うことでさらに考えを深めたり主体的な学びにつなげたりできるようになるとよいのではないかとということから、これまでも各教諭が授業を組み立て互いに見合うなどしてきました。昨年度は、「伝え合う」ということを直接言葉によって行うことが難しく、距離を開けたり紙に書いたりして何とか実現をめざしました。伝え合い方をもっと工夫しようと、動画の活用やお試しいただいたロイロノートが使えるようになるのではないかと今年も考えているところですが、先日行われたミニエノリンピック2021で、また違う伝え合いができていたと実感しました。

今年も見えていただく人数に限りがあり、時間も内容も十分とは言えないエノリンピックでした。練習中から何度も見ている者としては、ちゃんと仕上がるのだろうか、2学年が時間内に収まるのだろうかと心配になることもしばしばでした。しかし、本番に見せた子どもたちの姿が本当に素晴らしく、この一瞬、この動き、これが最後、にける思いが目に見えるような気がしました。曇天や雨天の隙間に練習してきたのに、当日は真っ青な空の下、暑さが忘れたこともあったと思いますが、保護者の皆様に、自分の一番よい姿を見せたいという子どもたちの気持ちが伝わった競技、演技だったと思います。

また、今年のミニエノリンピックは低・中・高のブロック開催だったので、運営委員会や運動委員会の児童がなんとかして全校で一つになるという感覚をもちたいと、開会式を工夫してくれました。各学級を聖火がリレーされて、最後に一つにまとめて点火をするという動画を含めて開会式のビデオを作成し、事前に各教室で視聴した上で当日を迎えました。それも高学年の担当になった子どもたちの思いの表れだと思います。

自分の思いを伝えるというのは言葉にすればわかりやすいこともありますし、言葉でなければわからないということもあります。しかし今回の子どもたちのように言葉でなくても思いが体に、伸ばした手に、力強さにアイデアに表れるということも本当にあるのだなと心から思いました。

学校側からは、ミニエノリンピックに際して、道路沿いからの参観はご遠慮ください、撮影もおやめくださいとお声をかけさせていただきました。すべての家庭に平等になるように、そして道路上であるということも考え、ご覧になりたいお気持ちは十分理解できるのですが、また、子どもたちの安全を考えるとどんな人が紛れて撮影してしまうかわからないので、やめていただきたい、という思いからでした。説明が足りないところもあったと思うのですが、常に20名前後の方がフェンスの向こうにいらしたことはとても残念でした。ぜひ、これからも言葉だけでなく姿でも、背中でも子どもたちの手本となる行動をとるとあっていきたいものだと思います。思った一日となりました。

